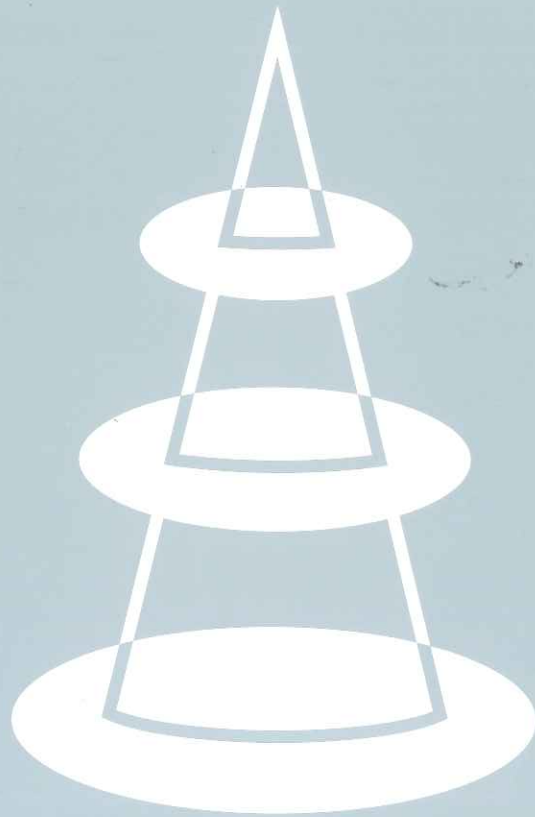


あしたの街は私がつくる



ごあいさつ



長崎市都市景観賞表彰実行委員会委員長
伊藤 一長

1999長崎市都市景観賞並びに都市景観賞奨励賞を受賞された関係者の皆様に、心よりお祝いを申し上げます。

昭和62年に発足した本賞も、今回で11回目を迎えることができました。これもひとえに関係者の皆様及び市民の皆様のご支援の賜物でございます。

さて、いよいよ西暦2000年を迎えました。長崎市は、日蘭交流400周年の記念の年に合わせて、今年を「ながさき阿蘭陀年」と位置付け、160以上に及ぶさまざまなイベントや催しを、15ヶ月に渡って開催いたします。

特に、この記念事業の目玉ともいべき出島の復元にあたり、長崎らしさの形成を目指して、取り組んでまいりました。当面の目標といたしました今年の3月までに、往時の建築物5棟及び護岸石垣の復元、史跡内の電線類の地中化等の工事がいよいよ完成いたします。

さらには、都市の魅力の向上を図るため、長崎都心臨海地帯の再開発として、「ナガサキ・アーバン・ルネッサンス2001構想」に基づき、市県一体となって事業推進に努めております。この中で、いよいよ常盤・出島地区の「出島ワープ」、元船地区の「夢彩都」が今年の春にオープンいたします。

このように21世紀にむけた事業も着々と進められており、都市の景観は、大きく変わろうとしています。美しい都市景観は都市文化の表れであり、人々の心を和ませ、市民の生活を豊かにするとともに、郷土への愛着心を培い、さらには、訪れる人々にも感動と喜びを与えるものです。長崎を訪れた方が、「いいまちだった」と感じて、もう一度訪れていただくために、都市景観の形成は、観光都市長崎として取り組んでいかなければならない重要な課題だと考えております。

このようななかで、今回の受賞作品は、美しいまちなみ、潤いのある空間、そして歴史的な文化遺産の継承という景観形成にとって向かっていくべき指針となる作品であると確信いたします。

長崎の個性を活かしたまちづくりは、市民の皆様のご参加、ご協力が無ければできません。その意味でも、本賞が市民の皆様にもますます親しまれ、都市景観形成に対する意識向上の一翼を担うことを期待いたします。

最後に、ご応募していただきました多くの市民の皆様、また、ご尽力いただきました宮川座長をはじめ選考委員の皆様にも、深く感謝申し上げます。挨拶といたします。



長崎商工会議所会頭
野崎 元治

1999長崎市都市景観賞並びに都市景観賞奨励賞を受賞されました関係者の皆様おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

この賞は、1987年「長崎市都市景観建築賞」として発足以来、長崎らしい街づくりを進めていくことを目的として、長崎の歴史的背景と地理的特色を活かしつつ、周囲の雰囲気と調和した建築物や優れた都市景観の形成に寄与している町並みなどに贈られてきました。

その対象は、市民の景観形成に対する関心の高まりとともに、さまざまなテーマでの建築物・工作物等の作品が取り上げられるようになり、都市景観賞の概念も広がりを見せております。

特に、昨年は第10回目を記念し「発見わがまち自慢」と題して、範囲を広げて長崎の良いところを推薦して頂きましたところ、夕焼けや夜景、長崎ならではの高台からの景色や、皆様が日頃から大切に育てられた四季折々の花や樹木など、数多くのご応募をいただくことができ、景観そのものが人々の生活に根づいたものであることを再認識させられたところであります。

今年は、西暦2000年を迎え、長崎では出島の一部復元や元船地区の「夢彩都」、出島地区の「長崎出島ワープ」、JR九州長崎駅ビルの「アミュプラザ長崎」のオープンや常盤地区の埋立地開発など、長崎の顔でもある港の景観が大きく変化を遂げることとなります。このような新しい長崎のまちづくりが進むなかで、より長崎らしく調和のとれた街の景観形成を促進するものとして、これからはますます本事業の役割が大きくなっていくものと思えます。

幸い、長崎には古来異国との交流で培われた独特の「歴史」と「文化」、豊かな海に囲まれた「地形」といった個性を持ち合わせておりますが、本事業を通じてこうした観光資源あるいは史跡等と共に、受賞された作品の数々が、長崎の街に広がり、より暮らしやすく、豊かな街並みが創られていくことをご期待いたします。

最後に、本事業が都市景観のみならず、長崎のまちづくり全般に対する市民の皆様に関心をより一層喚起するものとなることを祈念し、併せて、ご協力いただきました関係各位並びにご多忙の中ご尽力いただきました選考委員の皆様へお礼を申し上げましてご挨拶といたします。



選考を終えて
長崎市都市景観賞
選考委員会座長
宮川 密義

1999長崎市都市景観賞ならびに都市景観賞奨励賞を受賞された関係者の皆様、おめでとうございます。

今回は景観賞2件、奨励賞1件にとどまりましたが、本賞も通算11回、応募数は今回も延べ数で663、件数では128件を数えました。特に第7回から設けられたテーマ部門の応募が増加傾向にあり、今回は前回を大幅に上回って55件に及びました。これは市民の皆さんが景観の維持、形成の重要性を身近に感じ、本賞に対する理解をいっそう深めていることの表れではないかと喜んでおります。

今回は低迷する経済情勢を反映してか「大きな建物部門」「小さな建物部門」とも応募数が少なく、「大きな建物部門」では受賞作も出なかったのは残念です。しかし、4部門とも応募内容はバラエティに富み、全体に景観への配慮が着実に膨らんでいることが認められました。

具体的には、「小さな建物部門」で景観賞に選ばれた「長崎平和記念教会」のように、外観は落ち着いた雰囲気や周囲に溶け込ませ、内部では木の香りと太陽の輝きを自然な形で生かすなど、人々の心を癒す細かな配慮が見られます。

「歴史のある部門」で景観賞に選ばれた『富貴楼』は高い石垣、歴史を感じさせる建物、大きなクスの木などが周囲の緑にマッチして、長崎らしい風景を形成しています。

「テーマ部門」で奨励賞を受賞した『崇福寺通り』は料亭、小さな店、住宅などが混在しているながら、崇福寺を背景に街路樹の緑とあいまって独特の雰囲気をかもし出しています。ここでは4つの自治会が表彰の対象となりましたが、都市計画道路・電線の地中埋設などで整備に当たった市の担当部局の努力も評価する意見がありました。

賞に選ばれなかった応募作にも注目したい事例がありました。「テーマ部門」で応募の『ガーデニング』は、ダイヤモンドの一角で数軒の住宅が統一したイメージで行った植栽、庭造りが対象でしたが、業者のアドバイスのあったとしても、“個の美”を主張しがちな個人住宅に“町並景観”への配慮が形に表れたもので、これからのマイホームづくりに示唆を与えるものとして好感を抱かせました。

また「歴史のある部門」で応募のあった『伊良林1丁目の家並み』は築後70年を経た老朽化した木造長屋ですが、一步通りに入ると昔にタイムスリップしたような錯覚さえ感じます。外見からは補修などがうかがえず保存への意志は確認できませんが、町家の情緒、郷愁を漂わせる数少ない通りであり、選考委員会では「何らかの形で残せないか」との意見、要望が多かったことを付記しておきます。

以上のほか、表彰のレベルに及ばなかったものにも何らかの形で評価したい作品が数多くありました。これらにもスポットを当て、広く皆さんにご覧いただくため応募作パネル展が事務局で検討されております。本賞がますます定着し、意義が理解されるためにも、その具体化に期待したいと思います。

選考委員会

座長

宮川密義

長崎新聞社編集アドバイザー（マスコミ）

委員

芥寛

（社）長崎県建築士事務所協会長崎支部副支部長（建築）

井川愷亮

長崎大学教育学部教授（美術：洋画）

岡林隆敏

長崎大学工学部教授（土工学）

城尾忠明

（有）マイテイスパロウ代表取締役（まちづくり）

高橋清之

（社）日本建築家協会九州支部長崎会顧問（建築）

津田桂子

わらべ文庫主宰（文学）

津田礼子

活水女子短期大学助教授（美学）

ディナ・ベルトーロ野田

野田ゼミナール講師（国際文化）

中村亜希子

リブながさき編集長（マスコミ）

林田米松

長崎県グリーン事業協同組合理事長（造園）

伴丈正志

長崎総合科学大学助教授（建築）

福丸秀一郎

グラフィックデザイナー（美術：デザイン）

北郷雅子

フラワーデザイナー（デザイン）

宮原和明

長崎総合科学大学教授（建築）

山崎加代子

グラフィックデザイナー（美術：デザイン）

吉岡規子

（有）サンモープ代表取締役（色彩）

吉原明俊

ながさきプレス編集長（マスコミ）



『小さな建物部門』
長崎平和記念教会



【選定理由】

カラン、コロン・・・鐘の音に惹かれて小さな川沿いに歩くと、この教会の三角屋根が見えてくる。こぢんまりとしたヒューマンスケールの建物で、外観も内部も木の味を十分に生かした、やさしい色合いのモダンなデザインだ。扉を開けて中に入ると、これも小さなトライアングルにはめ込まれた10個のスタンドグラスから、清々しい光が漏れている。椅子や照明器具なども目立ちすぎないデザインで、心安らぐ空間となっている。裏通りに面した駐車スペースは、レンガと芝生でつくられたポケットパークの雰囲気で、子供たちの遊び空間としてもふさわしい。あくまでも自然素材にこだわった「エコ建築」である。原爆落下中心地公園近くの住宅街の中にある小さな教会。それだけにかえて、信者でなくとも入ってみたいくなるような、人と同一目線の安らぎと暖かみを感じさせてくれる。(山崎加代子)

所在地：富士見町21番14号

構造：木造

用途：教会

延べ面積：514.38㎡

階数：地上2階

高さ：9.50m

■所有者■

日本基督教団長崎平和記念教会 代表役員 盛谷 祐三

長崎市富士見町21番14号

■設計者■

株式会社一粒社 ヴォーリス建築事務所 代表取締役 石田 忠範

福岡市中央区天神2丁目14番2号福岡証券ビル

■施工者■

西日本菱重興産株式会社 代表取締役社長 緒方 利隆

長崎市飽の浦町5番3号



第11回
長崎市都市景観賞
1999

『歴史のある部門』
料亭 富貴樓



【選定理由】

長崎の街は石垣の街と言っても過言ではない。その中でも自然石を積み上げたこの石垣は、見るほどに当時の石工さんの工法や技術力が偲ばれる。その上に建てられている建物や植木がしっかりと調和した佇まいは、都市景観賞に十分値する。そして、大広間に一歩入ると天井の高さや絵ガラスの建具、また正面の英彦山や寺町の緑地を借景として取り入れた庭園が、元禄、寛政、そして明治時代を回想させて楽しくなる。欲を言えば、台風で壊れた北側の石垣の復旧跡が自然石であったらもっとすばらしい。(林田米松)

所在地：上西山町5番4号
構造：木造
用途：料亭
階数：地上3階
完成年：不詳（明治以前）

■所有者■
合資会社富貴樓 代表社員 内田 一
長崎市上西山町5番4号



『テーマ部門：プロムナード賞』
崇福寺通り



【選定理由】

崇福寺前、ワインレッドに彩られたお店の前に立ち、視線をゆっくりと廻していくと、適度に育ったエンジュ^{*1}の街路樹が目によさしく、ピストロ風の小さなお店やブティック、個性的な雑貨屋さん、旅館、小さな雑居ビルなどが静かに建ち並び、風景的ノイズを感じさせない。さらに視線を振ると洋館風のレストラン、料亭、和食専門店、エスニックな小物屋さん、皓台寺と続きそして朱寺として有名な崇福寺へと視線は戻る。新しくできたストリートではあるが、異文化が入り混じったこの通りは長崎にとって意味深い。(城尾忠明)

^{*1}エンジュ(槐)：中国原産の落葉広葉高木。

所在地：鍛冶屋町・油屋町
延長：322m
幅員：15m

■代表者■
油屋町自治会、鍛冶屋通り町内会、崇福寺通り今籠町町内会、八坂町自治会

長崎市都市景観賞受賞作品

第1回 (1987)

長崎市都市景観建築賞



活水女子大学・短大 音楽館・2号館 (東山手町)



松翁軒 (魚の町)



フォーレ三原台 (三原町)



中華門 (新地町)



カロムビル (浜町)

第2回 (1989)

長崎市都市景観建築賞



活水学院楠光寮 (小ヶ倉2丁目)



小ヶ倉公営住宅 (告道町)



蛸茶屋から新大工までの電車通り・電気軌道中央柱



山里小学校 (橋口町)



シーボルト記念館 (鳴滝2丁目)

第3回 (1991)

長崎市都市景観賞

長崎市都市景観賞奨励賞



川口整甲店 (浜町)



泉写真館 (川口町)



月光スタジオ看板「南蛮ボード」 (桜馬場1丁目)



シーボルト通り (新大工町)



長崎プリンスホテル・ポケットパーク (宝町)

長崎市都市景観賞受賞作品

第4回 (1992)

長崎市都市景観賞



海星修道院 海星学園図書館 (東山手町)



小ヶ倉水園 (上戸町:小ヶ倉浄水場内)



矢上小学校現川分校 (現川町)

長崎市都市景観奨励賞



坂本龍馬之像 (銅像)
(伊良林3丁目:風頭公園内)

第5回 (1993)

長崎市都市景観賞



金子建設株式会社本社ビル (松山町)



県営大橋団地・市営若葉団地 (大橋町、若葉町)



湊公園 (新地町)

長崎市都市景観奨励賞



復元唐船「飛帆」

第6回 (1994)

長崎市都市景観奨励賞



長崎県立総合体育館 (油木町)



長崎横尾郵便局 (横尾1丁目)

長崎市都市景観賞受賞作品

第7回 (1995)

長崎市都市景観賞



「大きな建物部門」
長崎電気ビル (城山町)



「歴史のある部門」
常岡歯科診療所 (油屋町)



「テーマ部門：歴史ロマン賞」
龍馬のぶつ (伊良林2丁目)

長崎市都市景観賞奨励賞



「小さな建物部門」
林兼石油株式会社浦上給油所 (松山町)

第8回 (1996)

長崎市都市景観賞



「小さな建物部門」
三宅脳神経外科医院
(若草町)



「歴史のある部門」
岩永梅寿軒
(諏訪町)



「テーマ部門：建築エコップ賞」
賑橋パーキングセンター (栄町)



「大きな建物部門」
長崎女子高等学校記念体育館 (中小島2丁目)



「テーマ部門：
四季プロムナード賞」
文教通り
(文教町、大橋町)

長崎市都市景観賞受賞作品

第9回 (1997)

長崎市都市景観賞



「大きな建物部門」
長崎市科学館 (油木町)



「歴史のある部門」
宝製綱株式会社 (小曾根町)



「歴史のある部門」
深堀の石塀群 (深堀地区)

長崎市都市景観賞奨励賞



「小さな建物部門」
高野眼科医院
(平野町)



「テーマ部門：ベイスайдシンボル賞」
三菱長崎造船所クレーン・ライトアップ (飽の浦町)

第10回 (1998)

長崎市都市景観賞



「歴史のある部門」
福砂屋本店 (船大工町)



「歴史のある部門」
児童養護施設マリア園 (南山手町)



「小さな建物部門」
岩永邸 (小江原町)



「小さな建物部門」
白髭内科医院 (片淵)



「大きな建物部門」
ホテルモンテ長崎 (大浦町)



「テーマ部門：自然賞」
善長谷教会とそこからの景色 (大籠町)



「テーマ部門：四季プロムナード賞」
サントス通り (上野町、橋口町、岡町)



長崎横尾郵便局 (1994)

滑石小学校
滑石公民館

長崎県立総合体育館 (1994)
長崎市科学館 (1997)

岩永邸 (1998)

三宅脳神経外科医院 (1996)

長崎平和記念教会 (1999)

長崎電気ビル (1995)

復元唐船「飛帆」(1993)

三菱造船所 クレーンライトアップ (1997)

三菱香煙工場

深堀の石塀群 (1997)

深堀小学校

善長谷教会とそこからの景色 (1998)

至野母崎

道の尾

赤迫

浦上駅

長崎プリンスホテル
ポケットパーク (1991)

市役所

公会堂

松翁軒 (1987)

賑橋パーキングセンター (1996)

川口龍甲店 (1991)

中華門 (1987)

湊公園 (1993)

ホテルモンテ長崎 (1998)

宝製綱株式会社 (1997)

児童養護施設マリア園 (1998)

小ヶ倉水園 (1992)

活水学院楠光寮 (1989)

小ヶ倉公営住宅 (1989)

至野母崎

長崎バイパス

文教通り (1996)

山里小学校 (1989)

大橋

サントス通り (1998)

金子建設株式会社
本社ビル (1993)

林兼石油株式会社
浦上給油所 (1995)

高野眼科医院 (1997)

泉写真館 (1991)

富貴楼 (1999)

シーボルト通り (1991)

白髭内科医院 (1998)

シーボルト記念館 (1989)

月光スタジオ看板 (1991)

蛸茶屋から新大工までの
電車通り・電気軌道中央柱 (1989)

蛸茶屋

龍馬のぶーつ (1995)

坂本龍馬之像 (1992)

眼鏡橋

岩永梅寿軒 (1996)

常岡歯科診療所 (1995)

常岡歯科診療所 (1995)

カロムビル (1987)

崇福寺通り (1999)

崇福寺

福砂屋本店 (1998)

福砂屋本店 (1998)

長崎女子高等学校
記念体育館 (1996)

大浦中学校

至田上

矢上小学校
現川分校 (1992)

現川駅

長崎トンネル

西山トンネル

矢上

国道34号線

至諫早

日見トンネル

蛸茶屋

風頭山

正覺寺下

至田上

大浦中学校

至田上

至田上

至田上

至田上

至田上

至田上

至田上

至田上

至田上

至田上

至田上

至田上

至田上

至田上

至田上

至田上

至田上

至田上

至田上

至田上

至田上

至田上

至田上

至田上

至田上

至田上

至田上

至田上



長崎市都市景観賞表彰実行委員会